

# 令和8年度 とやま農業未来カレッジ 園芸経営実践コース研修生募集要項

## 1 応募資格

令和8年4月～令和9年3月の1年間を通じて自ら生産から販売まで行う「園芸作物の実践的な模擬経営」等の研修が可能で、卒業時に概ね60歳未満の、以下の（ア）（イ）（ウ）のいずれかに該当する者

- （ア） とやま農業未来カレッジの令和7年度（第11期）通年研修生のうち、令和9年4月に富山県内で自営就農が見込まれる者
- （イ） 2年程度の農業経験と基礎的な栽培知識を有しており、令和9年4月に富山県内で自営就農が見込まれ、かつ、県農林振興センターや市町村、JA等の推薦が得られる者
- （ウ） 2年程度の農業経験と基礎的な栽培知識を有しており、令和9年4月から富山県内の農業経営体において園芸作物の栽培責任者となることが見込まれ、かつ、県農林振興センターや市町村、JA等の推薦が得られる者

2 募集定員 10名

3 募集期間 令和7年12月12日（金）～ 令和8年2月12日（木）

4 研修費用 年額 118,800円（予定）

5 応募方法 以下の書類を添えて、とやま農業未来カレッジへ持参又は郵送（当日消印有効）する。持参する場合の受付時間は、9：00～16：00とする（土・日曜日、祝祭日除く）。なお、応募に関する不明な点があれば、同時間帯に問い合わせしてもよい。

※個人情報の取り扱いについて

応募にあたって提出された氏名、住所その他個人情報は、厳重な管理のもとに保管し、選考や入学手続きなど、とやま農業未来カレッジ研修に関する目的以外には一切使用いたしません。

（1）願 書（様式1） 1通

（2）選考票（様式2） 1通 氏名、生年月日を記入し、写真を貼り付ける。写真は正面上半身を無帽で、出願前30日以内に撮影したもの。

（3）模擬経営計画（案）（様式3） 1－（ア）（イ）（ウ）共通

（4）就農計画（案）（様式4） 1－（ア）（イ）該当者

（5）営農計画（案）（様式5） 1－（ウ）該当者

（6）推薦書（様式6） 1－（イ）（ウ）該当者

- ※1 応募書類は、黒のインクで（ボールペン可。いわゆる“消せるボールペン”は不可。）で記入する。ただし、模擬経営計画（案）、就農計画（案）、営農計画（案）はワープロ等での作成も可とする。
- ※2 応募内容に虚偽が認められる場合は、合格を取り消すことがある。

## 6 選考等

- （１）選考日 令和８年２月１８日（水）  
受 付 １３：００ ～ １３：３０  
試験注意事項説明等 １３：３０ ～ １３：４０  
模擬経営計画（案）及び就農計画（案）の説明  
１３：４０ ～ １６：００  
（開始・終了時間は、応募者数により変動することもある。）
- （２）場 所 とやま農業未来カレッジ 月岡キャンパス  
〒９３９－８１３９ 富山県富山市月岡新２９６番地  
ＴＥＬ（０７６）４６１－３１８０
- （３）受検料 無 料
- （４）選考方法 プレゼンテーション  
模擬経営計画（案）、就農計画（案）、営農計画（案）を元に作成した  
パワーポイント資料等を用いて説明する。  
ひとりにつき、説明１５分・質疑１０分とする。
- （５）結果の発表 令和８年３月４日（水） 午前１０時  
月岡キャンパスに掲示するとともに、応募者全員に対して書面で合否  
の結果を通知する。

## 7 研修概要

- （１）研修期間 １年間（令和８年４月から令和９年３月）
- （２）研修内容 ①園芸作物の模擬経営  
②座学（栽培技術、労務管理、マーケティングなど）  
③流通システム（市場）研修  
④経営戦略（先輩農業者等との交流）研修  
⑤就農準備または営農開始準備
- （３）研修時間 下限１，２００時間（８００時限相当、１時限９０分）

(4) 研修拠点、留意事項等

研修拠点		模擬経営に関すること	
		実践場所	実践作物
吉岡キャンパス 月岡キャンパス		露地ほ場	野菜 (果菜類、根菜類、 葉菜類、イモ類)  花き
吉岡キャンパス		園芸ハウス	
県農林水産総合技術センター 園芸研究所果樹研究センター		果樹研究センター内 園地	果樹 (ナシ、リンゴ、ブドウ)
留意事項等	模擬経営に関すること ・模擬経営に供する品目は、1～2品目程度とする。ただし、富山県において栽培不適または栽培にあたり技術指導が困難と判断される作物の選択は不可とする。 ・露地ほ場やビニールハウスを複数の研修生が使用する場合は、その使用面積、使用方法は、別途協議のうえ決定する。 ・果樹については、模擬経営の計画が適切で、かつ果樹研究センターで実施できる場合のみ可とする。 ・模擬経営に要する種苗費、肥料・農薬費、包装資材費、販売手数料等の経費は、研修生が自己負担する。 ・模擬経営による生産物の販売収入は、研修生に帰属する。		
	模擬経営以外に関すること ・座学は、研修内容に応じて吉岡キャンパスまたは月岡キャンパスで実施する。 ・流通システム研修、経営戦略研修の実施場所は、別途定める。		
	その他 ・研修費以外の研修に要する経費（被服費等）は、研修生が負担する。		
＜参考＞  カレッジの施設・農地・機械装備の概要	【吉岡キャンパス】 校舎		

# 願 書

令和 年 月 日

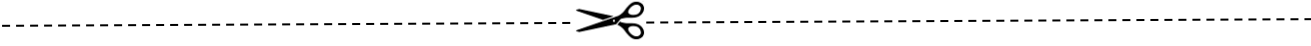
とやま農業未来カレッジ校長 殿

令和8年度とやま農業未来カレッジ「園芸経営実践コース」に入学したいので、  
志願します。

本人 住所 \_\_\_\_\_  
電話 (            )            —  
(固定電話、携帯電話など連絡が取れる電話番号を記入する。)

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_

昭和・平成 年 月 日生 (満 才)



様式 2

# 選考票

※選考番号			
ふりがな			
氏 名	昭和・平成    年    月    日生		
<div>写真貼付欄 縦45mm × 横35mm (ハスポートサイズ)</div> <div>1. 正面上半身を無帽で撮影したもの 2. 出願前30日以内に撮影したもの</div>			

記入上の注意    ※の個所は、記入しないこと。

様式 3

# 模擬経営計画（案）

## ※作成に際しての留意事項等

- ・ワードまたはエクセルで作成すること。
- ・適宜、様式の一部の加筆・修正は可とするが、表記の記載項目は遵守すること。
- ・複数品目（1～2品目程度）を栽培する場合は、品目毎に作成すること。
- ・選考試験当日は、計画書を要約した「パワーポイント資料」で審査員に説明すること。

《選考番号： \_\_\_\_\_ 氏 名： \_\_\_\_\_》

1. 模擬経営の品目 \_\_\_\_\_ (例) 大玉トマト
2. 上記品目の選定理由 \_\_\_\_\_ (例) 就農時栽培予定品目
3. 栽培規模 \_\_\_\_\_ (例) 150 m<sup>2</sup>
4. 栽培場所 \_\_\_\_\_ (例) 吉岡キャンパス内ハウス

## 5. 年間の栽培管理スケジュール（令和7年度内に準備する作業等があれば、併せて記載する）

月	作業の内容 ※種子・苗の調達、育苗、播種・定植、施肥・防除、収穫等の管理作業など記載
例) 3月	栽培に要する資材・器材リストの作成・手配、園芸ビニールハウス内の栽培個所付け、など
例) 4月	上旬：トマトポット苗の購入、 中旬：施肥・畝立て・定植
例) 翌3月	使用資材等の後片付け、植物残渣の処分

## 6. 栽培に必要な「種子・種苗・肥料・農薬等」の経費見込み

品 目	数 量	単価 (円)	経費 (円)	摘 要
例) トマト苗 (接ぎ木)	50 ポット	250	12,500	品種: 桃太郎
例) 肥料 (エコロングトータル 391、100 日タイプ)	10kg 入り 1 袋	4,000	4,000	
例) 農薬 (アドマイヤー 1 粒剤)	3kg 入り 1 袋	3,800	3,800	
例) トマトトン	20ml 入り 1 個	200	200	
経費合計				

## 7. 栽培に必要な「施設・資材・機器類」(購入が必要なものは、数量・経費など記載、見込み可)

器材・機器名	必要量	経費 (円)
例) ビニールハウス	吉岡キャンパスの園芸ビニールハウス 1 棟のうちの 2 / 3 使用	0
例) マルチ資材	黒マルチ 1 巻 (厚 0.02 mm × 幅 150cm × 長 100m)、2,000 円 / 巻 マルチ押さえピン 100 本、800 円 / 100 本入	2,800
例) 耕運機	カレッジの所有機械を使用	0
	経費合計	

## 8. 出荷・販売計画

月	内 容	収穫量 (kg)			販 売			
		上旬	中旬	下旬	販売先	数量 (kg)	単価 (円/kg)	販売金額 (円)
例) 6 月	中旬～出荷開始	0	5	20	J A 直売所	21	400	8,400
合 計					合 計			

## 9. 収支計画

### (1) 収入の部

科 目	品 目	金 額 (円)	摘 要
農産物販売収入	(例) トマト		(例) J A 直売所へ出荷
副産物収入			
その他収入			
合 計			

## (2) 支出の部

科 目	品 目 等	金 額 (円)	摘 要
種苗費	例) トマト苗		
肥料費	例) エコロングトータル 391、 100 日タイプ		
農薬費			
消耗品費			
労働費	例) 300 時間		例) 単価 1,000 円/時間
一般管理費	例) 荷造運賃		
販売手数料	例) トマト販売手数料		
その他経費	例) 研修参加、直売所会費		例) ○○研修会
合 計			

(3) 所得 円



## 就農計画（案）

## ※作成に際しての留意事項等

- ・ワードまたはエクセルで作成すること。
- ・令和7年度内に準備する作業等があれば、「5. 就農までのスケジュール」に記載する。
- ・選考試験当日は、計画書を要約した「パワーポイント資料」で審査員に説明すること。

《選考番号：\_\_\_\_\_ 氏 名：\_\_\_\_\_》

1. 就農予定地 \_\_\_\_\_

2. 農業経営開始予定日 \_\_\_\_\_

3. 目標とする営農類型 \_\_\_\_\_

※ 露地野菜、施設野菜、露地果樹、施設果樹、露地花き、施設花き・花木など、予定する類型を記載

## 4. 就農1年目（令和9年度）及び5年目（令和13年度）の農業経営目標

区 分	1年目の見込み		5年目の目標	
年間農業所得	千円		千円	
年間労働時間	時間		時間	
栽培予定品目	1年目の見込み		5年目の目標	
	作付面積	生産量	作付面積	生産量
	合 計			
農地の利用(a)	所在地	1年目の見込み	5年目の目標	
自己有地				
借入地				
合 計				
生産に必要な機械 施設の導入見込み	1年目の見込み		5年目の目標	
	名 称	台数・棟数	名 称	台数・棟数

労働力の構成	年齢	代表者との続柄	年間労働日数	
			1年目の見込み	5年目の目標
本人				
雇用労働力	人	—		

## 5. 就農までのスケジュール

年 月	内 容
	<div> <div>関係機関等との打合せ、青年等就農ビジョン・青年等認定就農計画 各種事業の活用、農地の確保、生産物販売先の確保など、 就農に向けて取り組む事項について記載</div> </div>
例) 令和8年2～3月	就農予定地を所管する市町村・農林振興センター等と打合せ 青年等就農ビジョンの作成、就農準備金の申請手続き等
例) 令和8年4月	とやま農業未来カレッジ「園芸経営実践コース」入学
例) 令和9年1～3月	就農予定地を所管する市町村・農林振興センター等と打合せ 青年等就農計画認定申請書の作成・申請 とやま農業未来カレッジ卒業
例) 令和9年4月	就農、独立自営開始 各種制度事業の活用など

様式 5

営農計画（案）

※作成に際しての留意事項等

- ・ワードまたはエクセルで作成すること。
- ・令和 7 年度内に準備する作業等があれば、「5. 就農までのスケジュール」に記載する。
- ・選考試験当日は、計画書を要約した「パワーポイント資料」で審査員に説明すること。

《選考番号：\_\_\_\_\_ 氏 名：\_\_\_\_\_》

1. 農業経営体名 \_\_\_\_\_

2. 営農類型（園芸部門） \_\_\_\_\_

※ 露地野菜、施設野菜、露地果樹、施設果樹、露地花き・施設花き、花木など、予定する類型を記載

3. 1 年目（令和 9 年度）及び 5 年目（令和 13 年度）の経営目標※

上記の営農類型に関する内容についてのみ記載する

区 分	1 年目の見込み		5 年目の目標	
年間農業所得	千円		千円	
年間労働時間	時間		時間	
栽培予定品目	1 年目の見込み		5 年目の目標	
	作付面積	生産量	作付面積	生産量
	合 計			
農地の利用（a）	所在地	1 年目の見込み	5 年目の目標	
自己有地				
借入地				
合 計				
生産に必要な機械 施設の導入見込み	1 年目の見込み		5 年目の目標	
	名 称	台数・棟数	名 称	台数・棟数



## 推 薦 書

令和 年 月 日

とやま農業未来カレッジ校長 殿

推薦団体名

所属長氏名

職印

下記の者を貴学の令和8年度「園芸経営実践コース」の入学に適格と認め、推薦いたします。

ふりがな 氏 名			<生年月日> 昭和・平成 年 月 日 生  ( 歳) 男 ・ 女	
推薦理由	人物評価			
	農業経験			
	「園芸経営者」 又は「農業経営 体の園芸作物 の栽培責任者」 としての資質 など			